

2023年6月9日「改悪」入管難民法が国会で成立。その日を覚えて、「ここのか」に発行します。

難民・移民なかまのいのち協働基金

ここのかしター

< 第2号 >

【編集・発行】

2025年5月9日 発行
「難民・移民なかまのいのち協働基金」運営チーム
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
日本キリスト教会館 52号室 RAIK内 外キ協事務局
電話：(03) 3203-7575
E-mail：nanminkikin@gmail.com
郵便振替：00190-4-119379 口座名称：外キ協
ホームページ：<https://gaikikyo.jp/>

難民申請中・仮放免中の子ども 81 人を支援！

昨年 10 月から再スタートした「難民・移民なかまのいのち協働基金（難民いのち基金）」。発足集会后からクリスマス、そして新年度にかけて、全国各地の教会・個人のみなさまから、約 220 万円の献金が集まりました。みなさまのお祈りと献金に、心より感謝いたします！

この献金と前回の繰越金とをともに、今年 1 月から「子ども支援」を開始しました。みなさまのおかげで、第一期 19 人、第二期 10 人、第三期 52 人、合計 81 人の子どもたちに支援金（1 人 3 万円、総額 243 万円）を届けることができました。

第一期と第二期では、「新年度に入学・入園・進学を予定している子ども」、または「高額医療を必要とする本人または家族がいる世帯の子ども」という条件をつけて申請を募集しました。しかし、この条件に当てはまらないが非常に困窮している家庭の子どもたちの状況を目の当たりにし、加えて必要な献金が満たされたことなどから、基金運営

チームで検討し、第三期は条件を外して実施することになりました。

今回の子ども支援では、年齢別で見ると、0-5 歳が 16 人、小学生が 26 人、中高生 34 人、その他 5 人。国籍・出身地別では、トルコ・クルドが一番多く 27 人、次にコンゴ民主共和国が 16 人、ナイジェリアが 8 人、その他 13 カ国と無国籍の子どもも 4 人いました。半数以上は在留資格がなく、約 7 割が難民申請中です。長い間、難民認定が出ず先の見えない状況にある子や、自分や家族の病気の治療が必要な子どもも多くいます。進学・進級のこの時期に、必要な学用品を揃えるために子ども支援がとてありがたいと声が届いています。

引き続き、難民いのち基金をお祈りに覚えて、お支えください。難民・移民の方々声を聞き、少しでもこの現状を変えていくために、あきらめずにみなさんと一緒に支えたいと願っています。

●森小百合（基金運営チーム）

「難民・移民とともに生きる オンライン入門講座」

< 第 2 回 > (2024 年 4 月 9 日) 報告

「オンライン入門講座」第 2 回では、はじめのお祈りに続いて、司会の河内理恵さん（日本バプテストキリスト教目白ヶ丘教会/NCC 教育部）から外キ協や難民いのち基金の取り組みについて説明があ

りました。そのあと、実際に支援されている方々からお話を伺う「オンライン講座」が始まりました。今回の講師は、アベベ・サレシラシエ・アマレさん（NPO 法人アディアババ・エチオピア協会代表）、滝朝

子さん(NPO 法人アディアベバ・エチオピア協会理事)と原文次郎さん(一般社団法人 反貧困ネットワーク理事、外国人支援担当)でした。



①アベベさんのお話:アベベさんは、東京葛飾区東四ツ木にあるアディアベバ・エチオピア協会で、難民として来日された方々を助ける働きをされています。アベベさんは、日本語で大変分かりやすく、いろいろなことを教えて下さいました。エチオピアでは野党への迫害で難民となり、今 1,637 人が日本にいられています。若い人が多く、出国するには至る所でお金を出さなければならないし、日本に着いてからは日本語がまず分からないので、大変な苦難が続きます。難民申請にはとても時間がかかることや、たびたび入管に出向いて、様々な書類を提出しなければならず、何とかビザを得たとしても、どうやって生きていくのか、そして日本人たちに信頼してもらって生活を成り立たせていくための努力など、想像を超えるお話でした。

日本に来るだけでどれだけのお金を使ったか、そしてちょっとのミスで入管に止められ、牛久の入管に収容されてしまう、中には帰国させられることもあるそうです。ウクライナの人々への補完的保護の後は、半年の在留ビザ「特定活動」がもらえるようになったそうですが、これは難民申請が不許可になると簡単に切られてしまうことになるそうです。それでも半年のビザがあると住民票が作れるので、そこから生活に関わる様々な制度や契約などの手続きを始めることができます。

来日して寒い中で野宿していた人たちを保護して、みんなで温かいお食事を提供して、しばらく協会で過ごしていた方々の様子なども紹介して下さいました。大変な中にありますが、子どもが生まれて、日本人たちと一緒に生きていくために自分たちの世界に閉じこもるのではなく、積極的に地域と関わり、また日本の地域の方々もエチオピアの人たちと関わり、共に生きていこうとしていられるお話には心暖かくなりました。年齢別のグラフでは小さい子たちのグラフが上がっていて、希望を感じました。地域に溶け込もうとして努力して

いるエチオピアの人々に入管の人たちも信頼を置いているのかなと思いました。頑張っておられるエチオピアの人たちとそなたと一緒に生きていこうとされている日本の方々の交流の様子が目に浮かぶようでした。アベベさんは無償でこの働きをされていますが、同胞の方々の笑顔が自分への報酬です、と喜んでおられました。



②原文次郎さんお話:反貧困ネットワークは、リーマンショックを契機として生活困窮者のために 2007 年につくられた政策提言をするための団体です。現在は年間 3 千万円の募金によって、2021 年から一般社団法人として実際の支援も行なっています。支援の要請があると駆けつけ、生活保護につなげ、生活の再建していくのですが、外国人の場合は、生活保護は権利ではないのでかなり難しいとのことでした。在留資格には、身分に紐づくもの(永住者、永住者の配偶者、定住者など)と仕事に紐づくもの(技能実習生など)があります。新型コロナ災害で仕事を失い、在留を失うということがコロナ後、多いとのことでした。

原さんは、「不法滞在」ではなく「非正規滞在」という言葉を使うのだと教えて下さいました。そして、難民申請中の人はそもそも働くことができないのです。最新のデータでは、難民申請している人の数は 12,373 人、仮放免の人は 2,448 人です。そしてアベベさんのお話にもありましたが、3 カ月以上の在留がもらえないと住民登録ができないのです。

原さんは、支援のために必要なことを確認するためにいろいろ話を聞きますが、自分が何回目の難民申請をしているかが分からなくなっている場合もあるそうです。支援の内容は、医食住(“衣”ではなく“医”)、そして生活も大事ですが、教育も大事です。中学校までは何とかありますが、高校からは無償化の対象外となるため授業料支援もしています。

「支援される」ばかりの関係ではあまり良くないので、「難民・移民フェス」を開催し、難民の方々に積極的に参加してもらっています。その他「おと

なりカフェ」で居場所をつくったり、国々の料理を提供してもらったりしています。

何と言っても将来の見通しが立たないというのが一番苦しいことで、希望が持てるようにしたいのですが、仮放免、短期在留を更新し、それが10年、20年となっている人もいます。仕事を失った場合、日本語が相当達者か技術がないと難しい。難民申請期間は、平均して2年11カ月もかかり、その間の生活は保護費がありますが、それは4カ月が限度で、またすぐにもらえるわけではないし、仕事に就いたら途端に打ち切られるのだそうです。

親が仮放免なので住民票がないため子どもの就学援助申請ができないので、こちらが申請者となって何回も役所に出向き、就学援助をもらうことができたのは、最近の成功例としてお話をいただきました。

今は、お米が手に入りにくくなって、食料の援助も大変です。シェルターとして用意されているお部屋の中の様子を写真で見せていただきましたが、ずっとそこで生きていけるのか、それでいいのか。そしてお金を出す人／もらう人という関係は本人にとっても良くない、と繰り返しておられました。

政府への政策提言として、医療援助、公営住宅入居、就労可能な在留資格、児童手当の申請などにつ

いてこれからも活動していきたいとのことでした。そしてうまくいかないことがあってもあまり自分のせいにならないで、適度な距離感をもってこの仕事を続けていきたいと話されていました。



名古屋では夕方のNHKで「ハローネイバーズ」という番組があります。外国の方々がどのように生活をされて、日本で生きておられるかを紹介している番組です。その番組では共生をテーマに外国籍の人々が生き生きと活躍されている場面がたくさん紹介されています。アベベさん、原さんのお話を伺いながら、支援する人される人、お金を出す人／もらう人ではなくて、共に一緒に生きていく関係をつくり出し、喜びや悲しみを分かち合うことができるようになることを目指していることを思いました。そういう中でも、今回の入門講座の中で、アベベさんの「生活が困窮すると犯罪に巻き込まれてしまうから、心配しています」という言葉が一番心に残っています。このことは個人の責任だけにはできないことです。仮放免の方々や仕事を失った方々が守られますようにとお祈りすることは、大切なことと思いました。そしてこの「難民いのち協働基金」の働きのためにも祈り続けていきたいと思いました。●田村義明（基金運営チーム）



オンライン講座に参加して・・・

最初のアベベさんのお話では、細かな所まで心配りのあるのは、同じ国にルーツを持っている同胞の支援をしているからではないかと思いました。同胞同士のコミュニティは、安心できるし心強い居場所として大切。しかし、それだけではなく地域の住民の方々との橋渡し役として、地域の中でどう共生していくかを考え、努力と工夫を惜しまない姿勢に、私たちも共生のヒントをいただいたように感じました。町内会のお祭りや防災訓練に参加する、文化交流のためのお食事会を開く、サッカー交流、ボランティアなど。地域住民の方に理解し

てもらい、地域住民の生活ルールを理解する、そのお互いの努力は、確実に信頼関係を築いておられるのだと感動しました。最も心に残ったのは、「コミュニティを孤立させない」ということでした。私たちも支え合う関係を大切にしたいと思いました。

原さんが関わっている反貧困ネットワークは、困窮を極める方々を支えている大きな働きだと実感しました。支える側と支えられる側という固定化された関係でない関係を目指しておられることに共感しつつ、どう実現するは共通の課題です。深刻化する状況では、難民入管法を改正し、難民・移民の人権を公的にも守らなければならないと痛感しました。●河内理恵（基金運営チーム）

第二次プロジェクト「難民・移民なかまのいのち協働基金」収支中間報告

(2024年8月2日～2025年4月30日)

| <収入> | | | <支出> | | |
|-------|-----------|---------------|------------|-----------|-----------------|
| 科目 | 金額 | 備考 | 科目 | 金額 | 備考 |
| 献金 | 2,396,108 | 教会・団体・個人 | 子ども支援金 | 2,430,000 | 子ども一人につき3万円×81人 |
| 助成金 | 400,000 | NCCエキムニカル協働基金 | 緊急支援金 | 0 | |
| 前年繰越金 | 323,293 | | 相談・同行支援活動費 | 0 | |
| | | | 講座経費・団体支援費 | 90,000 | 集会、講座の講師謝礼と団体支援 |
| | | | 事務費 | 213,333 | チラシ印刷代ほか |
| | | | 人件費 | 350,000 | 月3万円×2人 |
| 合計 | 3,119,401 | | 合計 | 3,083,333 | |

収支残高: 36,068 円

「難民いのち基金」に献金を送ってくださった教会・個人

(2024年8月2日～2025年4月30日)

外キ協/日本聖公会鹿児島復活教会/日本基督教団蒔田教会/カトリック・カルメル修道会/姪浜教会青年会/日本基督教団下落合教会/イエズス会社会司牧センター/日本キリスト教会横浜桐畑教会/寝屋川キリスト教会/カトリック・イエズス会 SJハウス/日本キリスト教会タ張伝道所/日本カトリック難民移住移動者委員会/キリスト友会東京月会/日本キリスト教婦人矯風会新潟/獨協大学 高橋雄一郎ゼミ/日本バプテスト連盟大分キリスト教会/日本自由メソヂスト教団/新潟ヘルプの会/日本キリスト教団豊中教会/カトリック伊達教会/広島メノナイト・キリスト教会/日本バプテスト深川教会/日本福音ルーテル帯広教会/日本福音ルーテル大江教会/日本キリスト教会柏木教会/日本福音ルーテル函館教会/日本バプテスト連盟金沢キリスト教会/日本聖公会桃山キリスト教会/神戸バプテスト教会/福岡女学院中学校・高等学校/日本キリスト教団旭川豊岡教会/日本バプテスト連盟大阪教会/日本バプテスト同盟関東学院教会/日本聾話学校/日本福音ルーテル札幌教会/日本キリスト教協議会女性委員会/日本自由メソヂスト布施源氏ヶ丘教会/八王子めじろ台バプテスト教会/日本基督教団九州教区北九州地区・ヤスクニ・人権委員会/杉並中通教会/日本基督教団播州赤穂教会/福知山教会/日本バプテスト厚木教会/市川三本松教会/扇町教会教育部/日本基督教団西片町教会/駒込平和教会/長住バプテスト教会/矯風会長岡/日本バプテスト静岡キリスト教会/日本基督教団那須塩原教会/野並キリスト教会/日本基督教団宇和島中町教会/日本基督教団松山教会/小倉日明教会/西南学院中学校・高等学校/日本キリスト教団三次教会/日本バプテスト連盟徳島キリスト教会/日本基督教団室町教会/日本バプテスト連盟北大阪キリスト教会/日本基督教団原宿教会/原宿幼稚園/筑豊協力伝道奉仕会/神の御母修道院/日本基督教団新潟教会/日本基督教団代々木上原教会 近かね基金/日本基督教団蒲田教会/日本基督教団 いや王子教会/日本基督教団 尼崎教会/日本キリスト教団岩見沢教会/在日大韓基督教会関西地方会/日本バプテスト同盟野並キリスト教会/在日大韓基督教会大阪西成教会/臼井愛子/森山薫/秋山仁・秋山綾子/安達晴子/松橋敦子/張征峰/秋山成子/青木武生/小宮山延子/赤木啓子/北山純子/高谷幸/岡田レツ/岡田薫/比企敦子/横山陽子/飛田雄一/長谷川洋一/北田もゆる/白井捷子/井手公平/清水佳子/大友陽子/藤田美土里/西原寿美子/細井留美/原田裕子/秋葉正二/河内理恵/齊木登茂子/宮本新/鎌田治子/原科浩/萩原芳子/松本聡/岡田幸助/大西晴子/田村義明/内田光生/灘山将之/渡辺輝夫/坂本千歳・筑田仁/佐藤恭/島田百合子/金児美恵子/坂田昌子/三吉小祈/梶井由紀子・東田幸子/内藤文子/五十嵐望美/真下弥生/森田俊隆/田附和久/森小百合/今給黎真弓/野副めぐみ/白石久幸/柴田朋子/井上豊/小松原有子/大倉一美/秋山献一/鄭雅英/上原正臣/東川由薫/山本二三子/宮尾素子/安田真由子/市川佐代子/古田真帆/辻本久夫/中村証二/ほか 18名(匿名)

※複数回献金者のお名前の掲載を1回とさせていただきます。

※献金を送ってくれた教会・修道会・団体、そして個人は延べ 77 団体+97 人

献金の合計額は 2,396,108 円 感謝!

◆難民いのち基金の最新情報は外キ協ホームページ (<https://gaikikyo.jp/>) をご覧ください。

●難民基金のチラシを、教会に掲示・設置できる方、事務局よりチラシをお送りできます。必要部数やデータ(PDF)希望など、事務局までお問い合わせください。



★難民いのち基金への献金はこちらへ★

◆送金先

<ゆうちょ銀行>

ゆうちょ振替: 00190-4-119379 口座名: 外キ協

<ゆうちょ銀行以外>

ゆうちょ銀行〇一九店(ゼロイチキョウ店)

口座番号: 0119379 口座種別: 当座

口座名: ガイキキョウ

◆送金の際のお願い

送金後、難民いのち基金事務局に以下の①～⑤についてメールを送ってください (nanminkikin@gmail.com)

- ①「難民基金」、②お名前、③ご住所、
- ④お名前の公表の可否、⑤領収書の要否

難民・移民のなかまたちを覚えて
あつまるう、祈ろう

★ここのか祈禱会★

◆毎月9日夜7時～7時半

「ここのか祈禱会」をオンライン(Zoom)で開催しています。ぜひご参加ください。

ID: 815 7644 8847

パスコード: 798850

